資料－５

第６回　関東地方流域治水連絡会議資料

林野庁　関東森林管理局

＜流域治水に関連する取組について＞

関東森林管理局の森林整備について

除伐





除伐は、植栽木の成長を妨げる樹木や、植栽木の中で成長の見込みのないものを除去する作業

間伐





間伐は、林分がうっ閉（樹冠に隙間がなくなった状態）し、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採する作業

森林整備（保育）面積	
令和７年度見込み	約3,856ha
令和８年度予定	約3,942ha

林内に光を入れることにより、下層植生を繁茂させ、保水機能等を高めることにつながります。

関 東 森 林 管 理 局 の 治 山 対 策

流域治水プロジェクトエリア内における治山対策実施個所

令和７年度見込み：４３件
３２．３億円
令和８年度予定　：４０件
２３．６億円
（災害等を含む）

〇利根川水系（群馬県嬬恋村）



倒木が堆積し、流木化のリスクが高い渓流において、既設の治山ダムに流木捕捉機能を加えた。



〇那珂川水系（栃木県那須塩原市）



不安定土砂が堆積する渓流において、治山ダムを設置し土砂の流出防止を図った。



＜ 令 和８年 度 予 算 資 料 ＞

令和8年度　林野庁関係予算の概要

令和7年12月

区　　分	令和7年度 予算額	令和8年度 概算決定額	令和7年度 補正予算額
	億円	億円	億円
公　共　事　業　費	1,973	1,992	1,155
（対前年度比）		101.0%	
一般公共事業費	1,880	1,899	863
（対前年度比）		101.0%	
治 山 事 業 費	625	628	340
（対前年度比）		100.5%	
森林整備事業費	1,256	1,271	523
（対前年度比）		101.2%	
災害復旧等事業費	93	93	293
（対前年度比）		100.0%	
非 公 共 事 業 費	1,095	1,120	264
（対前年度比）		102.3%	
合　　計	3,068	3,112	1,419
（対前年度比）		101.4%	

（注）1 林野公共関係予算の総合計は2,814億円

（・林野公共事業（令和8年度概算決定）：1,899億円
・林野公共事業（令和7年度補正予算）：863億円
・路網の整備・機能強化対策（非公共（令和8年度概算決定・令和7年度補正予算））：52億円）

2 上記のほか、農山漁村地域整備交付金に、林野関係事業を措置している。

3 金額は、関係ベース。

4 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

森林整備事業＜公共＞

令和８年度予算概算決定額　127,133百万円（前年度 125,565百万円）
〔令和７年度補正予算額　52,282百万円〕

＜対策のポイント＞

森林吸収源の機能強化や国土強靱化に資する、**林野火災対策**、**クマ・シカ等対策**、森林の集積・集約化の加速化に向けた**間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等**の推進に加え、花粉発生源対策として**伐採・植替え、路網整備等を推進**します。

＜事業目標＞

○　森林吸収量の確保に向けた間伐の実施（45万ha［令和３年度から令和12年度までの10年間の年平均］）
○　スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

＜事業の内容＞

１．間伐や再造林、路網整備等

①　省力化・低コスト化を進めつつ、**間伐や再造林等の適切な森林整備**を推進するとともに、**林業適地**等における**林道の開設・改良等**を推進します。

②　**森林の集積・集約化を進める地域**において、**基盤となる林道の整備や効率的な森林整備**を支援します。

③　花粉発生源対策として**伐採・植替え、路網整備等**を支援します。

２．豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等

①　豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等について、市町村等の**公的主体による復旧・整備**を推進するとともに、**防災上重要な幹線林道の整備**を推進します。

②　林野火災の危険度が高い地域において、**山火事防止施設を備えた防火機能の高い林道や延焼防止に資する防火林帯の整備**を支援します。

③　クマ類を始めとする野生鳥獣の人身被害対策として、**生息環境整備のための広葉樹林化や林縁部における緩衝林帯の整備等**を支援します。

＜事業の流れ＞

国 →（1/2、3/10等）→ 都道府県、市町村、森林所有者等（１の事業、２の事業の一部）
国 →（定額）→ 国立研究開発法人森林研究・整備機構（２の事業の一部）

※　国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

間伐や再造林、路網整備等

省力・低コスト造林による再造林面積の確保
路網整備の推進により再造林等を後押し


造林


下刈り


幹線林道の整備

森林資源の循環利用


公益的機能の持続的発揮

森林の集積・集約化を進める地域において、基盤となる林道の整備や効率的な森林整備を支援




間伐等の森林施業や路網整備

花粉発生源対策として伐採・植替えの一貫作業や路網整備等を支援



伐採・植替えの一貫作業

豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等

豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林等における復旧・整備や防災上重要な幹線林道の整備を推進


台風による風倒木被害


奥地水源林


幹線林道のり面保全

林野火災や人身被害の多発するクマ類への対策となる森林整備を支援


防火林帯の整備


緩衝林帯の整備

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

治山事業＜公共＞

令和８年度予算概算決定額　62,784百万円（前年度 62,453百万円）
〔令和７年度補正予算額　33,976百万円〕

＜対策のポイント＞
豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、**能登半島の複合災害等の教訓を踏まえて短期間により多くの箇所で安全性を向上させる応急対策を強化**するとともに、**施工性の高い工種・工法の導入促進など、効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組を推進**します。

＜事業目標＞
周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約58.1千集落［令和５年度］→約60.5千集落［令和10年度］）

＜事業の内容＞

１．能登半島の複合災害等の教訓を踏まえた治山対策の強化

① 複合災害に備え短期間により多くの箇所で安全性向上を図るため、**流木の発生源調査**や、**激甚災害被災地での危険箇所調査に基づく応急対策を支援**します。

② 土砂流出の懸念がある山火事跡地において、ワイヤーネット等の**簡易的な構造物の設置による応急対策**や**森林土壌調査を支援**します。

③ 海岸防災林における**津波被害軽減機能の発揮等に向けた適切な密度管理**や津波浸水想定区域における**避難経路等に近接する危険木除去を支援**します。

２．効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組の推進

① 「選ばれる森林土木」となるよう、治山工事におけるプレキャスト等の**施工性の高い工種・工法の導入を促進**します。

② 第１次国土強靱化実施中期計画で掲げる治山対策の効果を早期に発現させるため、**施設の新設と併せた既存施設の機能強化・長寿命化対策を推進**します。

③ 効果的な森林病虫獣害対策を実施し、森林の防災機能を面的に維持・発揮させるため、**地域で森林保全対策を実施する関係機関等と連携した治山対策を促進**します。

（関連事業）治山施設災害復旧事業
地すべり防止施設が被災した場合の**緊急的な二次災害防止対策を事業対象に追加**します。

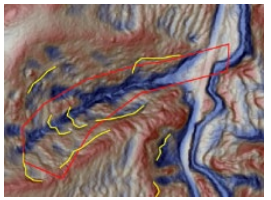
＜事業の流れ＞

国 →（1/2等）→ 都道府県

※ 国有林、民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

○能登半島の複合災害等の教訓を踏まえた治山対策の強化

激甚災害被災地での危険箇所調査　　簡易な構造物による応急対策





山火事跡地における森林土壌調査を踏まえた治山ダムの設置　　海岸防災林の適切な密度管理

○効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組の推進



機能強化・長寿命化対策



既存施設を有効活用した治山対策


施工性の高い工種・工法の導入促進


地域一体となった森林保全



被災した地すべり防止施設での二次災害防止対策

［お問い合わせ先］林野庁治山課（03-6744-2308）

森林整備による対策＜公共＞

令和７年度補正予算額　25,821百万円

＜対策のポイント＞
森林の防災・保水機能の発揮のため、**山地災害危険地区周辺等における間伐、再造林等の森林整備**や災害時に備えた**特に重要な林道の整備・強化**のほか、**林野火災対策やクマ等対策**を推進します。

＜事業目標＞
森林吸収量2.7%（平成25年度総排出量比）の確保に向けた間伐の実施（令和３年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

＜事業の内容＞

１．防災・保水機能を高めるための森林整備や林道の強靱化

森林の防災・保水機能を発揮させるため、流域治水の取組等とも連携しつつ、**山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち特に緊要度の高いエリア等において間伐、再造林等の森林整備**を推進するとともに、林業・山村地域において**災害時に備えた特に重要な林道の整備・強化**を推進します。

２．林野火災や人身被害の多発するクマ類への対応等

林野火災の危険度が高い地域において、**山火事防止施設を備えた防火機能の高い林道や延焼防止に資する防火林帯の整備**を支援するとともに、人身被害が多発するクマ類を始めとする野生鳥獣の人身被害対策として、**野生鳥獣の生息環境整備のための広葉樹林化や林縁部における緩衝林帯の整備等**を推進します。

＜事業の流れ＞

国 →（1/2、3/10等）→ 都道府県、市町村、森林所有者等（１、２の事業）
国 →（定額）→ 国立研究開発法人森林研究・整備機構（１の事業の一部）

※　国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

１．防災・保水機能を高めるための森林整備や林道の強靱化



防災・保水機能を高めるための森林整備



災害時に備えた特に重要な林道の整備・強化

２．林野火災や人身被害の多発するクマ類への対応等


防火林帯イメージ


緩衝林帯イメージ

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

治山施設の設置等による対策＜公共＞

令和７年度補正予算額　33,976百万円

＜対策のポイント＞

豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、**山地災害危険地区や重要なインフラの周辺等において、治山施設の整備等による防災・減災対策を推進**するとともに、**効率的かつ効果的な国土強靱化対策等を推進**します。

＜事業目標＞

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約58.1千集落［令和５年度］→約60.5千集落［令和10年度］）

＜事業の内容＞

１．効率的かつ効果的な国土強靱化対策の推進

第１次国土強靱化実施中期計画で定める目標や、**山地災害危険地区の全国一斉点検を踏まえ、流木、土石流対策等を推進**するとともに、**複合災害に備え**、短期間でより多くの箇所での安全性向上を図るため、

① 「選ばれる森林土木」となるよう、プレキャスト等の**施工性の高い工種・工法の導入**

② 施設の新設と併せた**既存施設の機能強化・長寿命化対策**

③ 土砂流出の懸念がある山火事跡地における**森林土壌調査**

により、**効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組を推進**します。

２．荒廃山地・渓流の緊急的な復旧整備

令和７年８月からの大雨や林野火災等により荒廃した山地・渓流について、**下流への被害を防止するための緊急的な復旧整備を推進**します。

＜事業の流れ＞

国 →（1/2等）→ 都道府県

※ 国有林及び民有林の一部においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞



土砂流出を防止する治山ダムの整備



流木捕捉式治山ダムの設置







緊急輸送道路や津波避難路等の重要インフラの周辺における治山対策の実施



山火事跡地における森林土壌調査を踏まえた治山ダムの設置

［お問い合わせ先］林野庁治山課（03-6744-2308）